

# みんなできれいなまちづくりを進めよう

## まちづくりを進めよう

町では、町民の皆さんが一体となって、清潔できれいなまちづくりの実現を図ることを目的に「開成町きれいなまちをつくる条例」を定めています。

住みよいきれいなまちをつくるため、身近でできることから実践してみましよう。

環境防災課  
☎84-0314



パレットガーデン東側道路わきに捨てられたパソコン（平成22年3月）

### ※不法投棄は犯罪です。

定められたルールを無視して、公共の場所などに捨てられるごみが後を絶ちません。これらのごみは、地域の方々や、町が片づけたりしていません。

平成21年度に、町が処理した不法投棄ごみは35件。処理した主なものは、布団類が最も多く、ストープなどの生活家電類なども多くありました。地域の方に処理していただいた量を含めると、この数倍の量があつたことが想定されます。

不法投棄は、美観を損ねるだけでなく、地域の方にも迷惑がかかります。一人一人がルールを正しく守り、ごみ置場に粗大ゴミなどの不適切なごみが出されないようにしましょう。

### ●かいせいクリーンデーの結果

3月14日（日）、恒例となった「春のかいせいクリーンデー」として町内一斉清掃が行われました。当日は、地域の美化推進委員が中心になり、各地域の水路などの清掃を行いました。また、町内の多くの事業所の方にも参加いただき、皆さんの手できれいな環境となりました。



### ●落書き消しキャンペーン

3月20日（土）、文命中学校の生徒・かいせい防犯まちづくり推進協議会委員など23人で開成駅前公園近くの倉庫などに描かれている落書きの消去作業を行いました。

このキャンペーンは「かいせい防犯まちづくり推進協議会」の事業のひとつであり、落書きを消すことにより、犯罪のないきれいなまちをつくることを目的として行われている活動です。



文命中学校生徒たちによる落書き消しキャンペーンの様子

落書き行為は犯罪です。町全体で落書きを排除し、安全で安心なきれいなまちをつくりましよう。



### ステップ1 ごみ出しのルールを守りましよう

◇決められた種類ごとに分別してください。

- ・ごみの種類ごとに分別して、それぞれの種類に応じたごみ置場に出しましょう。
- ・大きさが30cm以上のもの（資源ごみ、剪定枝を除く）は、粗大ごみとなり、ごみ置場には出せません。環境防災課で手続きをお願いします。

◇決められた日に出してください。

- ・ごみの種類や、お住いの地区によって、収集日が異なります。町民カレンダーをよく確認し、決められた日に出してください。（町ホームページでも確認できます）

◇町では回収できないものもあります。

- ・事業活動により排出されたゴミは回収できません。
- ・リサイクルすることが決まっている家電（テレビ・パソコン・エアコン・冷蔵庫・洗濯機など）は、買ったお店などで引き取ってもらいましょう。

### ステップ2 資源となるものは燃えるごみに出さないようしましよう

- ・草や剪定した枝などは、剪定枝の収集日に出しましょう。
- ・食品トレー、布類、ペットボトルは資源ごみの収集日に出しましょう。メモ用紙や紙きれなどの雑がみも資源ごみです。

### 資源ごみに出せる雑がみの種類

《紙製の箱》  
衣類・菓子・化粧品・たばこ・食品等の入っていた箱、トイレットペーパーの芯など  
《紙のみで作成された冊子》  
カタログ、説明書、ダイレ

クトメール、手帳、ノートなど

《紙、プリント類》  
学校からのプリント、メモ用紙、折り紙、画用紙、はがき、名刺など  
《包装の際、使用される紙製品》  
包装紙、手提げ袋、封筒、割り箸の袋など

※銀紙、セロファン、プラスチック、ビニール、テープ、ホチキス針、金具類はできるだけ取り除いてください。  
※個人情報を書いてある紙は細かく裁断するか、マジックなどで消すようにしてください。

### ステップ3 もえるごみを減らしましよう

家庭から排出されるごみのうち、最も多いものもえるごみ。毎年約3,000トン、一人一日当たり約535グラムが出されていることになりました。

もえるごみは、山北町にある足柄西部環境センターで焼却処理をしていますが、この

処理には多額の経費がかかっています。

一人一人がごみを減らすことにより、焼却処理にかかる経費の削減につながります。

### 生ごみは水分を絞って出しましよう

もえるごみの約半分が水分です。生ごみなどの水分を絞ることにより、ごみの量を減らすことができます。（水切り器具は、環境防災課で無料配布しています。）

### 水分を減らすポイント

- ①水にぬらさない
- ・野菜の使えない部分を最初に切り落としてから洗う。
- ・乾いているごみは、ぬらさないようにする。

- ②生ごみはよく水を切る
- ・三角コーナーにある生ごみは、水切り器具を利用したり、ペットボトルの底などでよく水切りをする。
- ・水切りネットに入れた生ごみは、捨てる前に手で押すなどしてもう一度よく水を切る。



水切り器具を使って生ごみの水分を絞っている様子

（スイカやメロンなど水分の多いものは、細かくすることで水切りがしやすくなります。）

家庭用生ごみ処理機の購入費を助成しています。詳しくは環境防災課へ。

☎84-0314